

## <前提>

この手順を使用する前提条件

- ・Git管理するための
  - ・Git Bashのインストール
  - ・Eclipseのインストール
  - ・対象のプロジェクト（ディレクトリ）
  - ・リモートリポジトリ（GitHub）

の準備が出来ていること

## <目次>

### ■初回コミット準備

- ローカルリポジトリの作成（Eclipseで実施）
- 既存のローカルGitリポジトリを追加（Eclipseで実施）
- パーソナルアクセストークンの発行

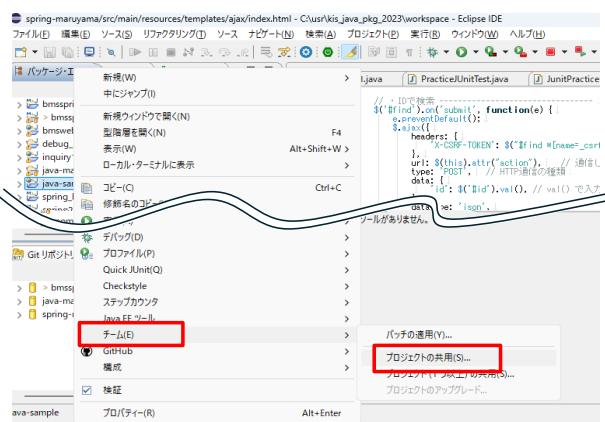
### ■コミット

- 「ステージされていない変更」欄からaddする
- 「コミットメッセージ」を入力する
- コミットおよびプッシュ

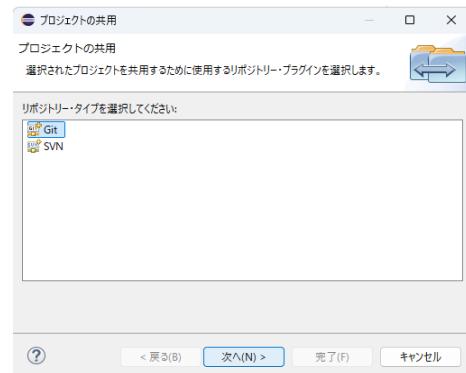
## ■初回コミット準備

- ローカルリポジトリの作成 (Eclipseで実施)  
(※CUIを含め、まだ一度も初回コミットを行っていない場合。実行済の場合は飛ばして次の「既存のリポジトリ～」に進む)

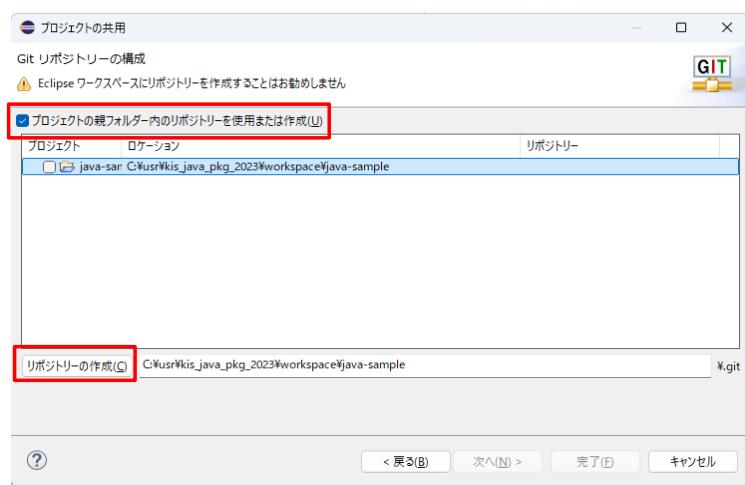
- プロジェクト名で右クリック>チーム>プロジェクトの共用



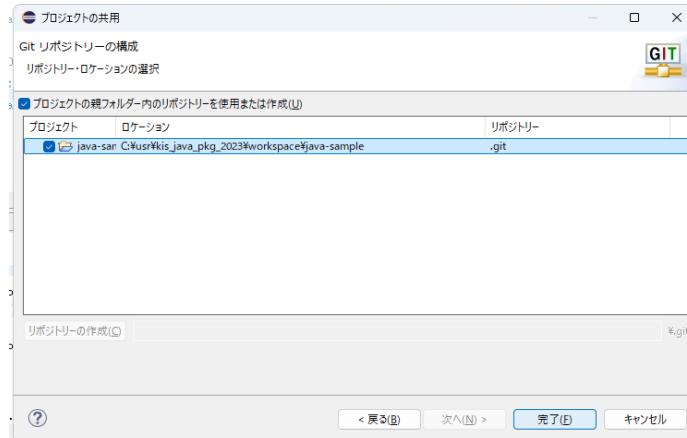
- 「Git」を選択して「次へ」



- 「プロジェクトの親フォルダ～」にチェックを入れ、「リポジトリの作成」をクリック

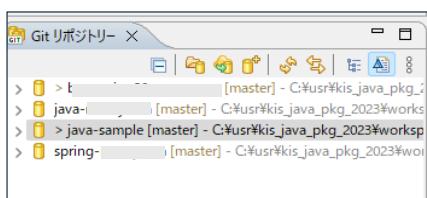


・下図のような表示になったら「完了」をクリック



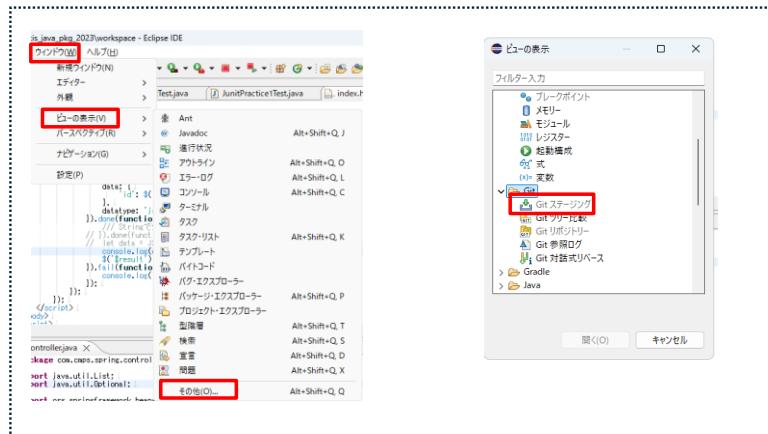
・「Gitリポジトリ」ビューに追加されたことが確認できます

※他にプロジェクトがない場合は、先ほど選択した自身のプロジェクトのみが表示されている状態

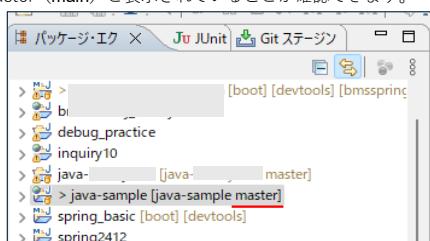


※「Gitリポジトリ」ビューが表示されていない場合は、以下で開くこともできます

ウインドウ>ビューの表示>その他>Gitの中から選択して開く



・「パッケージ・エクスプローラー」ビューのプロジェクト名の右端にも master (main) と表示されていることが確認できます。



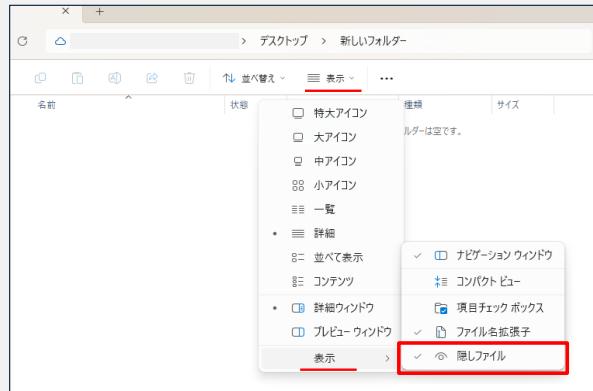
□ 既存のローカルGitリポジトリを追加 (Eclipseで実施)

(※GUIを含め、初回コミットを行ったことがある場合。初めて行う場合は飛ばして次の「パーソナルアクセス～」に進む)

(準備)

- エクスプローラーを開き、表示 > 表示 > 隠しファイル の順でクリックして開き、「隠しファイル」にチェックが付いていることを確認する。

チェックがついていない場合はクリックし、チェックが付いている状態にする。



- 「Gitリポジトリ」ビューを開く。

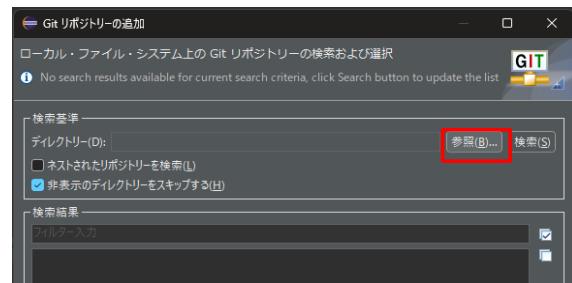
開いていない場合は全項目の「※「Gitリポジトリ」ビューが表示されていない場合～」を参照して開く。

(以下、手順)

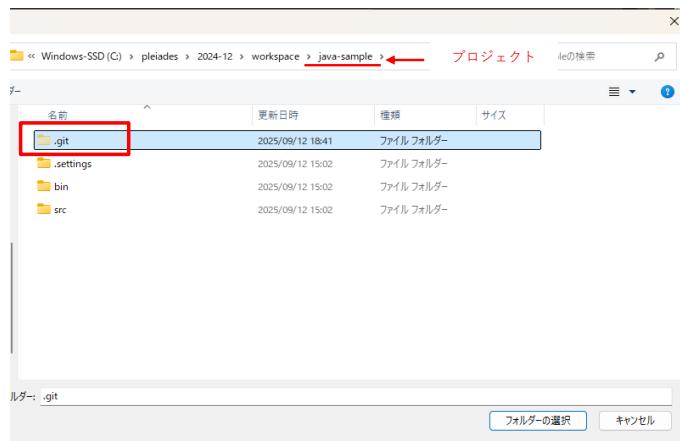
- 下記のアイコン、または「既存のローカルGitリポジトリを追加」をクリックする。



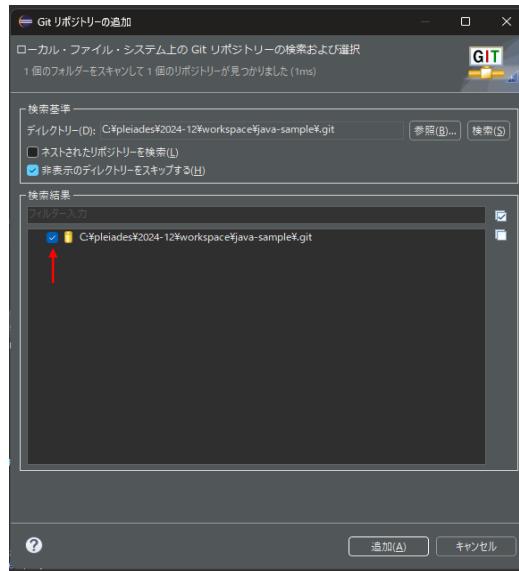
- 「参照」をクリック



- 対象プロジェクトのフォルダを開き、「.git」フォルダを選択して、「フォルダーの選択」をクリック



- 「検索結果」に表示されたフォルダにチェックを入れて、「追加」をクリック

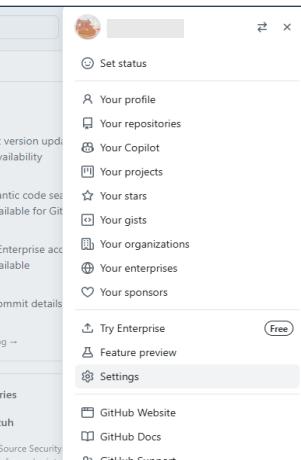
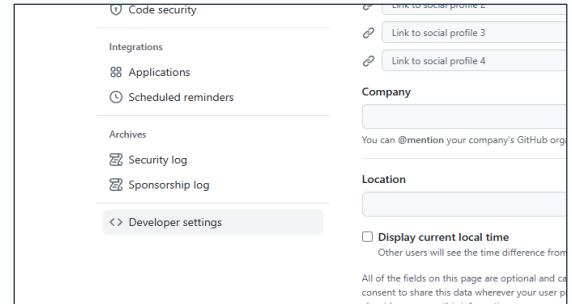


以上で「Gitリポジトリ」ビューにローカルリポジトリが追加されます。

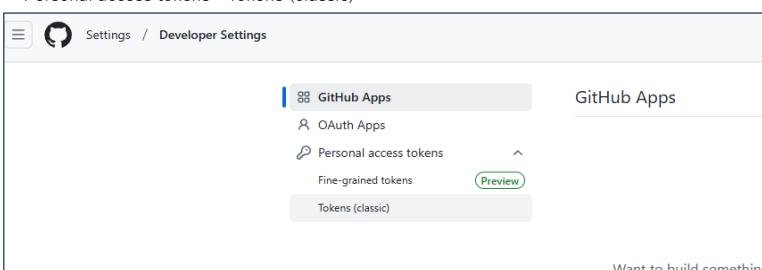
□ パーソナルアクセストークンの発行

※ トークンの有効期限が切れた場合再発行する必要があります

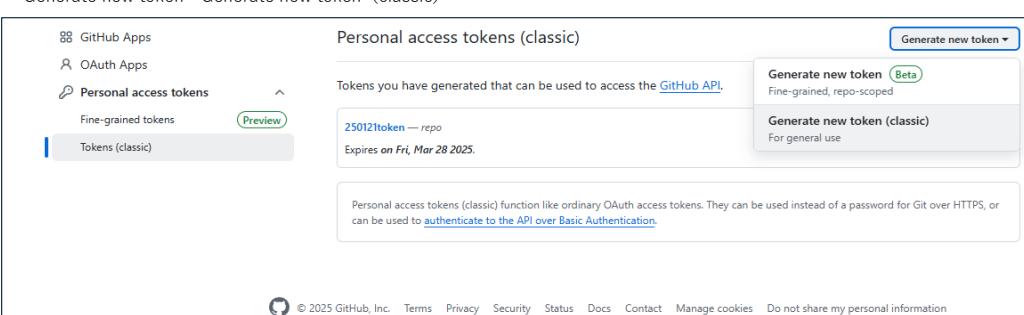
- ・ ブラウザでGitHubを開く 
- ・ GitHubのトップページから右上のメニューを開く > Settings > 次の画面の下部にある「Developer settings」

・ Personal access tokens > Tokens (classic)



・ Generate new token > Generate new token (classic)



- 以下を入力・選択

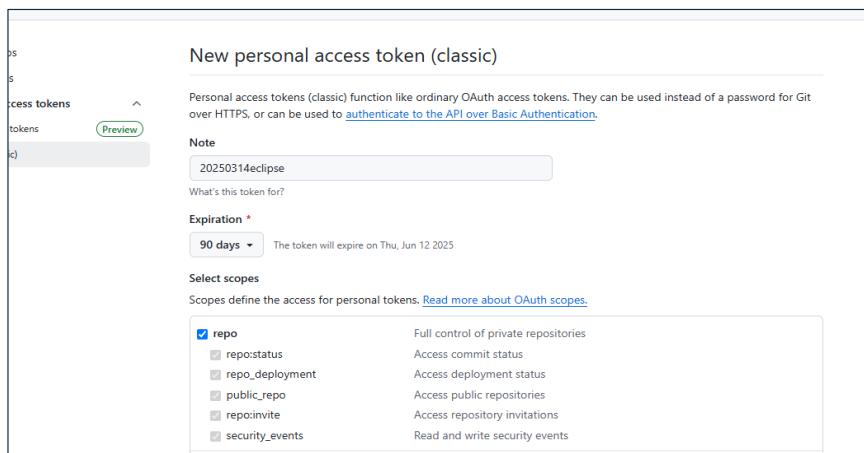
Note: パーソナルアクセストークンの利用用途（名称）を記述

→自分が分かればよいので今日の日付 + eclipse等でOK

Expiration: パーソナルアクセストークンの利用期限を設定

→特にこだわりがなければ90daysでOK

Select scopes: このトークンがもつ権限。Eclipseからリポジトリ操作を行いたいので repo にチェック



The screenshot shows the GitHub 'New personal access token (classic)' creation interface. It includes fields for 'Note' (20250314eclipse), 'Expiration' (90 days), and a 'Select scopes' section. The 'repo' scope is checked, granting full control of private repositories. Other available scopes include 'repo:status', 'repo:deployment', 'public\_repo', 'repo:invite', and 'security\_events'.

- 下記のようにトークンが発行されるので、コピーして控えておく。



The screenshot shows the GitHub 'Personal access tokens (classic)' list page. It displays a generated token: 'ghp\_CL...'. A red arrow points to the copy icon next to the token. A message at the top of the list says, 'Make sure to copy your personal access token now. You won't be able to see it again!'

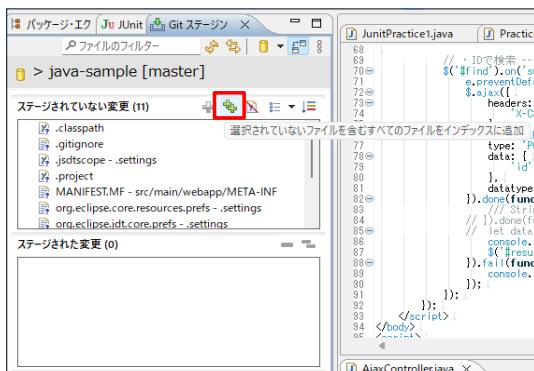
## ■コミット

- 「Gitステージング」ビューを開く  
→※初回・開いていない場合は、プロジェクトを右クリック>チーム>コミット

□ 「ステージされていない変更」欄からaddする (=今回のコミットに含めたいファイルを選択)

→※初回は全件addする

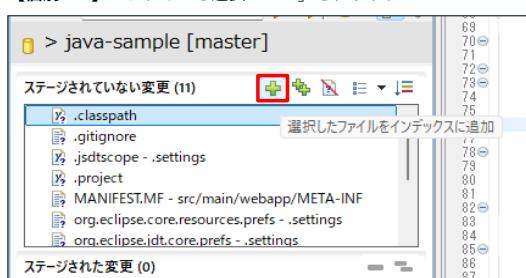
【全件add】 「++」マークをクリックする



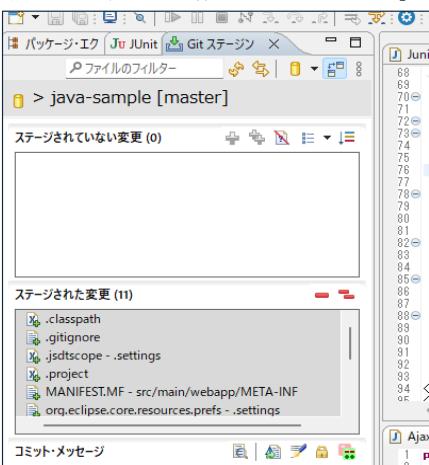
→2回目以降は全件でも個別でもOK

個別のファイルのみaddしたい場合は以下の通り

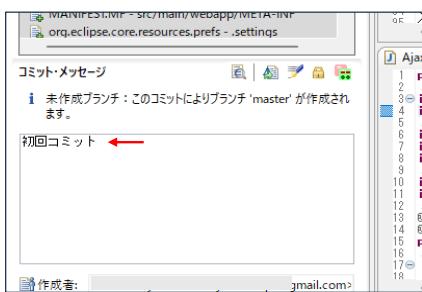
【個別add】 ファイルを選択>「+」をクリック



☆addすると、ファイル名が「ステージされた変更」に移動されるのが確認できる



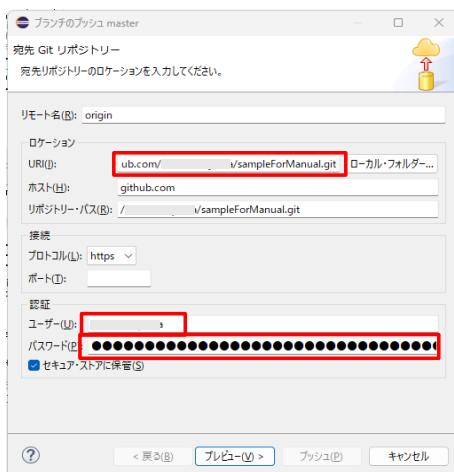
- 「コミットメッセージ」を入力する  
 →※初回の場合は「初回コミット」  
 →2回目以降は「単元名」など、適切な内容。記録として残せるタイトルになるので、分かりやすく記載する



- コミットおよびプッシュ  
 ・「コミット及びプッシュ」をクリック ※初回でエラーが出た場合は続けて「HEADのプッシュ」をクリックする

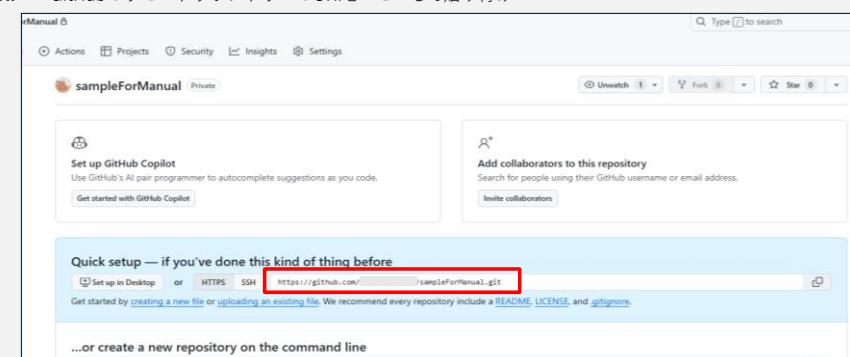
→※初回の場合

「宛先Gitリポジトリ」が表示される



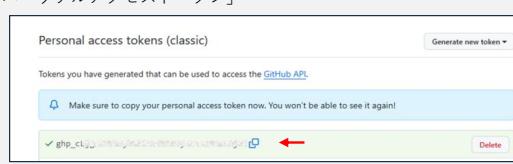
上記の赤枠の欄を入力する

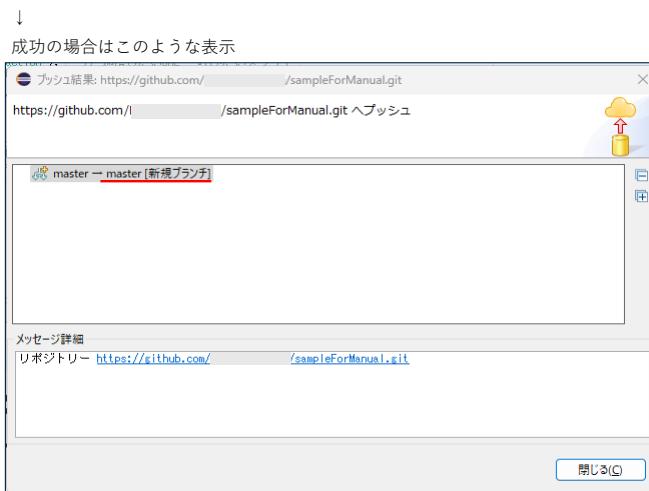
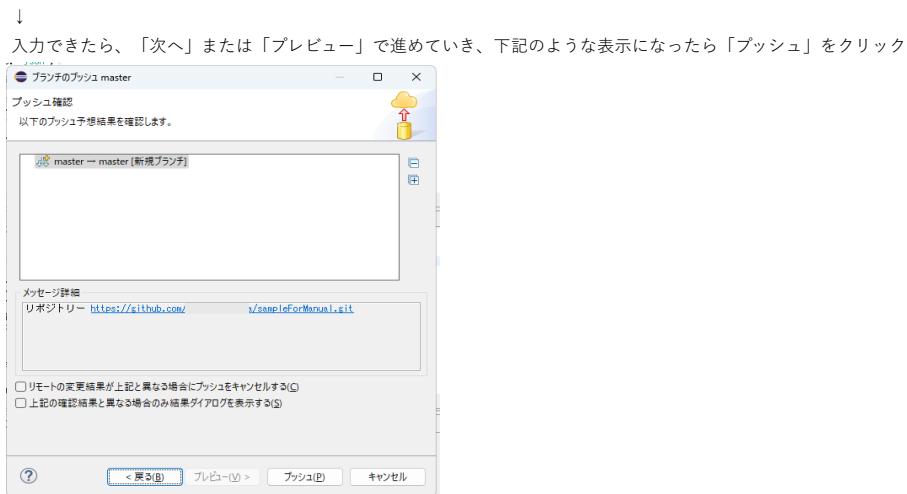
- ・URI →GitHubのリモートリポジトリのURIをコピーして貼り付け



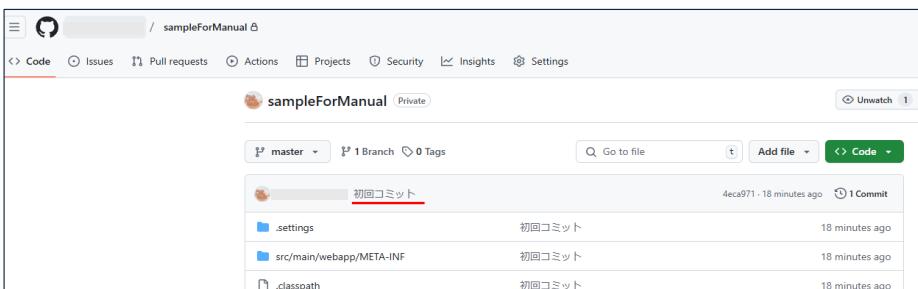
- ・ユーザー →GitHubユーザー名

- ・パスワード →控えておいた「パーソナルアクセストークン」





GitHubのリポジトリを更新すると、以下のような画面  
赤線部には最新のコミットメッセージが表示されます



#### →2回目以降の場合

下記のように表示されていればプッシュ成功  
赤線:コミットのハッシュ値（数字 + 英字の文字列）とコミットメッセージ

